

## 2018 春季生活闘争 第1回中央闘争委員会 確認事項

### I. 最近の特徴的な動き

#### 1. 至近の経済情勢について

政府が12月8日発表した2017年7-9月期の四半期別GDP速報(2次速報値)によれば、実質GDP成長率が前期比0.6%増、年率換算で2.5%増となり、1次速報の前期比0.3%・年率1.4%から上方修正された。内訳をみると、個人消費は横ばいであったが、設備投資が0.2%から1.1%に上方修正されており、公共投資および内需も上方修正されている。

また日銀が12月15日発表した12月の短観は、全規模全産業の業況判断指数(DI)が過去26年間で最も高いプラス16となり、企業業績の改善が続いていることを示している。世界経済の好調が影響した大企業製造業はプラス25で、5四半期連続の改善である。中小企業全産業でも前回から2ポイント改善のプラス11で、1991年8月以来の高さとなった。業種別では製造業が好調な一方、天候や人手不足の影響を受けたサービス関連業種では悪化が目立った。加えて、全規模全産業の雇用人員判断DIはマイナス31で1992年2月以来の低水準、中小企業全産業はマイナス34となり、人手不足の深刻度は増すばかりである。

アメリカ連邦準備制度理事会(FRB)は12月13日、雇用の堅調な伸びや物価上昇を受けて、政策金利を0.25%引き上げて誘導目標水準を1.25~1.50%とすることを決め、14日付けで実施した。

今後とも、国内外の政治・経済動向を注視していく必要がある。

#### 2. 政策・制度課題をめぐる足下の情勢について

政府は、年内を目途に2018年度予算案および税制改正大綱を閣議決定する予定である。年明けに召集される第196通常国会では、これらに加え、労働基準法等改正法案を含む「働き方改革」関連法案が提出される予定であり、すべての働く者の立場にたった政策の実行に向けて、真摯な議論が求められる。

連合は、働く者の思いを共有する多くの仲間とともに、構成組織・地方連合会とも十分に意思合わせを行いながら、政策・制度実現に向けた取り組みを力強く進めていく。

### II. 当面の闘い方

#### 1. 構成組織における2018闘争体制の確立

構成組織は、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」による継続した所得の向上を通じて「経済の自律的成長」「社会の持続性」の実現をはかる。とりわけ「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の流れを継続・定着・前進させる。加えて「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現を同時に推し進めるという2018春季生活闘争方針の主旨に沿って、それぞれ闘争方針と闘争体制を

確立していく。その際には、それぞれの産業ごとに個別銘柄の「最低到達水準」「到達目標水準」を明示し、社会的な共有に努める。

## 2. 共闘連絡会議の開催

部門別共闘連絡会議は参加構成組織の要求内容を把握した上で適宜会議を開催し、より主体的な闘争を進めるために、非正規労働者も含めた賃金引上げと働き方の見直し、および中小組合への支援状況などについての情報交換と情報開示を進めていく。単組の要求策定に資するよう、「中核組合」の確認および各回答ゾーン（7. 参照）で回答を引き出す組合の設定を早期（1月中）に行った上で、2月初旬に「中核組合の賃金カーブ維持分・賃金水準」および「代表銘柄・中堅銘柄」を開示できるよう準備を進める（詳細別途周知）。

## 3. 「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組み

2018 春季生活闘争において実現をめざす重要な目標である様々な格差（企業規模間、雇用形態間、男女間など）の是正をめざし、実効性ある取り組みを行うための準備を進めていく。構成組織においては、「最低到達水準」を確保する点検を行う。地方連合会は、連合リビングウェイジに基づく「最低到達水準」および地域ミニマム運動に基づく「地域の職種別賃金相場」を広く開示し、地場の賃金相場の社会的波及を進める。

## 4. 職場点検活動の実施

単組は、「2018 春季生活闘争 職場点検チェックリスト」（11月27日付け@RENGO第15-00164号掲載済み）も用いながら職場点検活動を行い、法律・労働協約の遵守や安全問題への対応を徹底させ、公正なワークルールの確立をめざす。とりわけ、2018 春季生活闘争方針を踏まえ、36協定の点検や年次有給休暇の取得促進などによる長時間労働是正、無期転換ルールの周知や転換促進および雇用形態間の不合理な労働条件の点検・改善等非正規労働者のワークルール、男女平等の促進などに取り組むこととする。

## 5. 社会対話の促進

連合本部は経団連とのトップ懇談会等、経済団体との協議を通じて労働側の主張を明確にしていくとともに、「クラシノソコアゲ応援団！ RENGOKAMPAIN」第3弾と連動し広く社会に向けてアピールする。

地方連合会は、開かれた春季生活闘争の実現に向けて地域のあらゆる関係者との連携をはかるべく、地域活性化や人財確保など地域の課題をテーマとした「地域フォーラム」を開催するべく、実施に向けた諸調整を促進する。

## 6. 組織拡大の取り組み

構成組織は春季生活闘争の中で、同じ職場で働くパート・有期契約などの非正規労働者の組織化と、子会社・関連会社、取引先企業などにおける集团的労使関係の構築に取り組む。

## 7. 2月末までの要求提出と回答引き出しに向けた交渉配置

構成組織・単組は2月末までに要求を提出し、共闘連絡会議第1回全体代表者

会議（12月5日）において確認した以下のゾーンでの回答引き出しに向け、精力的に交渉を進める。

- 第1 先行組合回答ゾーン 3月12日（月）～16日（金）  
【ヤマ場 3月14日（水）】
- 第2 先行組合回答ゾーン 3月19日（月）～23日（金）
- 3月 月内決着集中回答ゾーン 3月24日（土）～31日（土）

具体的な戦略・戦術については、交渉状況等を踏まえ、別途確認する。

### Ⅲ. 当面の日程

#### 1. 機関会議

|               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 2017年 12月 21日 | 第1回中央闘争委員会（第4回中央執行委員会後）      |
| 2018年 1月 16日  | 第2回戦術委員会（第6回三役会後）            |
| 17日           | インフラ・公益共闘連絡会議第1回会議           |
| 18日           | 流通・サービス・金融共闘連絡会議第1回会議        |
| 18日           | 第2回中央闘争委員会（第5回中央執行委員会後）      |
| 23日           | 金属共闘連絡会議第1回書記長・事務局長会議        |
| 25日           | 交通・運輸共闘連絡会議第1回書記長・事務局長会議     |
| 30日           | 化学・食品・製造等共闘連絡会議第1回書記長・事務局長会議 |
| 2月 14日        | 第3回戦術委員会（第7回三役会後）            |
| 16日           | 第3回中央闘争委員会（第6回中央執行委員会後）      |
| 3月 6日         | 第4回戦術委員会（第8回三役会後）            |
| 8日            | 第4回中央闘争委員会（第7回中央執行委員会後）      |
| 4月 17日        | 第5回戦術委員会（第10回三役会後）           |
| 19日           | 第5回中央闘争委員会（第8回中央執行委員会後）      |

#### 2. 諸行動

|             |  |
|-------------|--|
| 2018年 1月～2月 | 経済団体との懇談等  |
| 1月 12日      | 「性的指向及び性自認に関する差別禁止に向けた取り組みガイドライン」学習会                     |
| 12日         | 「2018連合白書」説明会  |
| 2月 5日       | 2018春季生活闘争 闘争開始宣言2.5中央総決起集会                              |
| 8-10日       | 「働き続けたい！なぜ辞めなければならないの!?<br>STOP 雇止め・雇用不安！」連合集中労働相談ホットライン |
| 3月 1日       | ーまだ間にあう！労働契約法改正（無期（ムキ）転換ルール）への対応 ー「労働者・経営者のためのムキムキセミナー」  |
| 5日          | 2018春季生活闘争・政策制度 要求実現3.5中央集会                              |
| 8日          | 2018春季生活闘争 3.8国際女性デー全国統一行動・中央集会                          |
| 4月 6日       | 2018春季生活闘争 共闘推進集会  |

以 上